

突発性難聴

患者様情報

来院されるまでの症状

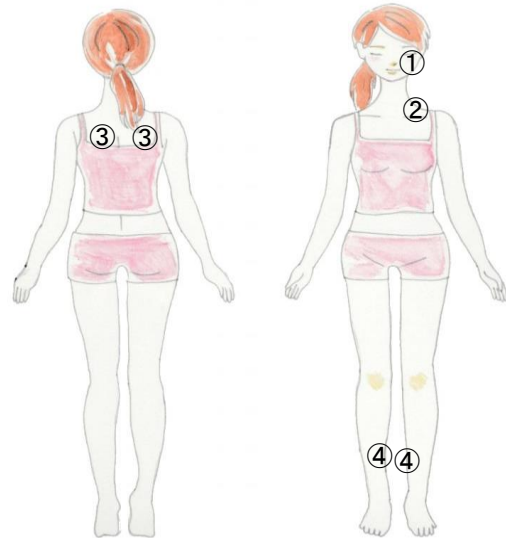
- ・ある朝、目覚めると左耳の様子がおかしいことに気づき、耳鼻科を受診しました。
- ・突発性難聴と診断されました。
- ・MRIの検査で見つかった左耳の腫瘍については経過観察をとることでした。
- ・その後、3ヶ月間服薬を続けても症状に改善がみられないとこのことで来院なさいました。
- ・難聴、耳の閉塞感、耳の痛みを訴えてらっしゃる時に、強い不安感に襲われている様子でした。

患 者 様	50 代
初 診	年 月
既 往 症	偏頭痛(左が多い)
他 の 症 状	耳痛、耳管閉塞

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・全体的に覇気がなく、肉体的にも精神的にも酷く憔悴している様子でした。
- ・足の冷えが強かったため、上がってしまった気を下に降ろして気のバランスを整えることから施術を始めました。
- ・左首まわりの強ばりを解し、施灸をして1回目を終わめました。



■ 初診後の経過

- ・施術後、全身が温かくなり身体が楽になったとのことでした。症状が激しいので、間隔を空けずに週2回の受診を提案しました。
- ・発症から受診までの間隔が長かったので、即効性は期待できませんでしたが、徐々に耳の違和感が治まり、不安感も消えて日常生活が落ちついてきました。
- ・最近では、休みの日には外出する気になってきたとのこと。左耳の腫瘍も大きくならず小康状態を保っています。

使用した主要なツボ

- ①翳風(エイフウ) ②欠盆(ケツボン)
③膏肓(コウコウ) ④三陰交(サンインコウ)

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・突発性難聴は、発症してから鍼灸を受診するまでの経過期間の長短が症状の改善に大きく影響する症例の1つです。
- ・この症例は、発症から既に3ヶ月が経過していたため、症状緩和までに時間がかかってしまった例といえます。
- ・聴覚のトラブルは、長引くと精神的にも肉体的にもダメージが大きいといわれています。発症はもとより、調子がおかしいと思ったらすぐに鍼灸受診をされることをお勧めします。とくに聴覚など感覚器官のトラブルについては、早い診療こそが早い改善につながります。